

シラバス

令和5年度

学校名: 専修学校インターナショナルリゾートカレッジ

学科・学年	エアポートビジネス科 エアカーゴコース・1年次	授業方法	講義・実習	講義時期	通年
授業科目	総合学習 I	担当者	市原 瑞貴	科目必修区分	必修
授業概要 (目的)	1. KBC学園の教育理念に掲げる「豊かな人間性」育むために学内外において様々な行事に参加し、クラスメートとの協調性・思いやり・気配り・積極性・感謝など自身の体験を通して身につける授業とする。 人として大事な「クレド項目」を実践する授業として実施する。 2. 就職実務や就職出陣式の時間を活用し学生の就職意識の向上と目標進路設定を行う機会とする。				
到達目標	学校内外の行事を通して学生のチャレンジ精神・感謝等の「学生クレド項目」が日常生活から率先して行えるようになる。評価方法に関しては各行事ごとの振り返りレポートと学生の個別ガイダンスを合わせた評価C以上取得。(A・B・C・Dの4段階評価とし、レポート、ガイダンス内容等を学校で定めた成績評価の基準とする)				
授業計画	総授業時間数 136 時間 授業回数 136 回 1回授業 45分				授業時間数
	1	LHR ロングホームルーム(クラス行事、学生個別ガイダンス等を含む)			36
	2	就職実務 I			52
	3	マーケティングジャーナル			34
	4	面接指導			14
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
	合計時間数				136
教科書	オリジナルプリント				
時間外学習	1. 学生クレドの項目を普段の学校生活にて各自で実践する(立ち止まって挨拶、身だしなみ等) 2. 学校行事(ビーチパーティや学園祭等)に関しては時間外で準備対応等がある。				
成績評価方法	出席率、授業態度、週末テスト、提出課題等の結果により総合的に評価する。				
担当詳細	1. 実務家	2. 教員	備考		
実務経験紹介	—				

シラバス

令和5年度

学校名:専修学校インターナショナルリゾートカレッジ

学科・学年	エアポートビジネス科 エアカーゴコース・1年次	授業方法	演習・講義	講義時期	通年
授業科目	パソコン演習 I	担当者	喜名 和歌子	科目必修区分	必修
授業概要 (目的)	企業人に求められる基本のパソコン (Word・Excel) のスキルを身につけ、 文書の作成及び表計算の作成ができる。				
到達目標	日本語ワープロ検定試験3級以上、日本情報処理技能検定3級以上取得 ①ブラインドタッチで10分間300文字以上、及び定型ビジネス文書の作成ができる。 ②四則計算や「IF」など、基本的な関数処理ができる。				
授業計画	総授業時間数 90 時間 授業回数 90 回 1回授業 45分				授業時間数
	1	ワープロ検定について(パソコン室の使い方等の注意事項)			1
	2	タイピング練習(4級速度練習)			5
	3	4級速度模擬問題			2
	4	タイピング練習(3級速度練習)			6
	5	3級速度模擬問題			4
	6	文書作成の注意事項について			2
	7	4級通信文作成練習			2
	8	4級通信文作成模擬問題			2
	9	3級通信文作成練習			4
	10	3級通信文作成模擬問題			4
	11	模擬問題演習(速度+通信文)			20
	12	表計算作成についての説明			6
	13	四則計算、関数の説明			6
	14	3級模擬問題			26
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
	合計時間数				90
教科書	日本語ワープロ検定試験模擬問題集3・4級編及び情報処理(表計算)模擬問題3・4級編				
時間外 学習	パソコン室にて過去問題について、自主学習を行う。				
成績評価 方法	出席率、授業態度、模擬問題の成績、検定試験の結果等総合的に評価する。				
担当詳細	1. 実務家	2. 教員	備考		
実務経験紹介	—				

シラバス

令和5年度

学校名:専修学校インターナショナルリゾートカレッジ

学科・学年	エアポートビジネス科 エアカーゴコース・1年次	授業方法	講義・実習	講義時期	前期
授業科目	沖縄観光	担当者	仲井間 利加子	科目必修区分	必修
授業概要 (目的)	沖縄の歴史や文化を知ることによって今後、グローバルに活躍する学生には郷土愛を持っておもてなしの精神(うとういむち)で幅広く自信をもって沖縄のことを紹介する。				
到達目標	1.沖縄の地理、概要を知る 2.沖縄の文化を知る事(ブクブク茶) 3.沖縄の41市町村を理解する事				
授業計画	総授業時間数 32 時間 授業回数 32回 1回授業 45分				授業時間数
	1	沖縄観光とは?・メラビアン ^① の法則・ペーパー紹介			2
	2	ぶくぶく茶体験			2
	3	DVD鑑賞(対馬丸)			2
	4	沖縄の市町村・概要・沖縄の市町村ビンゴ			4
	5	沖縄の年中行事			4
	6	市内研修と首里城公園 課外授業			7
	7	沖縄の伝統工芸			2
	8	沖縄の伝統芸能			2
	9	沖縄の食文化			3
	10	沖縄語(しまくとぅば)言葉の文化			2
	11	琉球・沖縄の歴史			2
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
		合計時間数			
教科書	うちな～観光教本(沖縄コンベンションビューロー)				
時間外 学習	1. ブクブク茶体験				
	2. 那覇市内研修				
成績評価 方法	出席率、授業態度、豆テスト等総合的に評価する。				
担当詳細	①.実務家	2. 教員	備考		
実務経験紹介	https://www.irc.ac.jp/information/				

シラバス

令和5年度

学校名:専修学校インターナショナルリゾートカレッジ

学科・学年	エアポートビジネス科 エアカーゴコース・1年次	授業方法		講義		講義時期		前期	
授業科目	志学 I	担当者		市原 瑞貴		科目必修区分		必修	
授業概要	1. KBC学園の教育理念に掲げられた「人財」を目指し、人間性を磨き各自の「志」をたてる。社会人として働くうえで知識・技術だけではなく豊かな人間性を兼ね備えた学生の育成を目的とする。 2. 「学生クレド」についての理解を深め、望ましい価値観や考え方を身に付け学校生活の中で実践し社会人の準備を意識させる目的とする。								
到達目標	志学を通して各章ごとの「学生クレド項目」が日常生活から率先して行えるようになる。評価方法に関しては各行事ごとの振り返りレポートと出席率、志学の教科書記入内容等を合わせた評価C以上取得を目標とする。(A・B・C・Dの4段階評価とし、学校で定めた成績評価の基準とする)								
授業計画	総授業時間数 26 時間 授業回数 26 回 1回授業 45分								授業時間数
	1	志学 I 序章							2
	2	志学 I ねらい・学習目標							2
	3	志学 I 第1章 ～感謝 (クレド1)～							2
	4	志学 I 第2章 ～感動 (クレド2)～							2
	5	志学 I 第3章 ～思いやり・気配り (クレド3)～							2
	6	志学 I 第4章 ～明朗 (クレド4)～							2
	7	志学 I 第5章 ～挨拶 (クレド5)～							2
	8	志学 I 第6章 ～素直 (クレド6)～							2
	9	志学 I 第7章 ～プラス思考 (クレド7)～							2
	10	志学 I 第8章 ～チャレンジ精神 (クレド8)～							2
	11	志学 I 第9章 ～永久戦力 (クレド9)～							2
	12	志学 I まとめ、振り返り							4
	13								
	14								
	15								
	16								
	17								
	18								
	19								
	20								
	21								
	22								
	23								
	24								
	25								
	26								
	27								
	28								
	29								
	30								
	合計時間数								26
教科書	KBC学園 志学 I・II								
時間外学習	1. 志学で学んだクレド項目を普段の学校生活にて各自で実践する(立ち止まって挨拶、身だしなみ等)								
成績評価方法	出席率、授業態度、レポート提出状況等総合的に評価する。								
担当詳細	1. 実務家 (2. 教員)			備考					
実務経験紹介	—								

シラバス

令和5年度

学校名: 専修学校インターナショナルリゾートカレッジ

学科・学年	エアポートビジネス科 エアカーゴコース・1年次	授業方法	講義・演習	講義時期	通年	
授業科目	ビジネスマナー	担当者	喜名 和歌子	科目必修区分	必修	
授業概要 (目的)	企業現場で必要となる、ビジネスマナー・敬語・働く姿勢・心構えのほか、一般教養や社会的常識、社会制度などの知識も習得する。					
到達目標	1. 社会人として基本的な心構えができている。 2. 丁寧語、謙譲語など基本的な敬語の知識を習得している。 3. 姿勢やお辞儀など、基本的動作や電話応対などを習得している。					
授業計画	総授業時間数	28時間	授業回数	28回	1回授業 45分	授業時間数
	1	社会人としての心構え				4
	2	基本動作(立つ姿勢・お辞儀の仕方)				4
	3	言葉遣いの基本(話の仕方、聞き方・敬語の基本)				4
	4	来客応対(接遇とは・お客様の受付・名刺交換その他)				6
	5	確認テスト 解答と解説				2
	6	電話応対				4
	7	訪問のマナー				2
	8	確認テスト 解答と解説				2
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
	31					
	合計時間数				28	
教科書	テキスト: 実践ビジネスマナー					
時間外 学習	読書や新聞を読み語彙力を上げる					
	様々な年代の方々と実際に会話をすることを実践し、敬語力を向上させる					
成績評価 方法	家庭学習課題提出、出席率、授業態度、確認テスト、期末テストの結果により					
	総合的に評価する。					
担当詳細	1. 実務家	2. 教員	備考			
実務経験紹介	—					

シラバス

令和5年度

学校名: 専修学校インターナショナルリゾートカレッジ

学科・学年	エアポートビジネス科 エアカーゴコース・1年次	授業方法	講義・演習	講義時期	前期
授業科目	エアライン実務(基礎)	担当者	市原 瑞貴	科目必修区分	必修
授業概要 (目的)	航空業界で使用する知識や航空会社、空港、航空機の特徴を学び航空知識並びに空港で働く仕事が理解できるようになる。 授業前半を航空業界共通の知識を学び、授業後半では、エアポートビジネス科が目指すグランドハンドリング業務の基礎知識を学ぶ。				
到達目標	1. 空港で使用されるコード、特殊車両、航空用語等の確認テストを合格。 (100点満点中60点以上で合格) 2. 那覇空港を就航する各空港の3レターコードを答えることができる。 (30空港中24空港以上正解)				
授業計画	総授業時間数 44 時間 授業回数 44 回 1回授業 45分				授業時間数
	1	各航空会社とキャリア ①航空知識			2
	2	航空会社と2レター アライアンス ①航空知識			2
	3	3レター那覇空港就航都市 ①航空知識			2
	4	概要説明 空港業務説明 ①航空知識			2
	5	各航空機機種説明 ①航空知識			2
	6	那覇空港従事航空会社概要紹介 ①航空知識			2
	7	1～6まとめテスト ①航空知識			4
	8	グランドハンドリング職業説明 ②グランドハンドリング知識			2
	9	空港特殊車両(基礎) ②グランドハンドリング知識			2
	10	航空用語(②グランドハンドリング知識			4
	11	空港制限区域内説明 ②グランドハンドリング知識			2
	12	7～10まとめテスト ②グランドハンドリング知識			4
	13	航空危険物 ②グランドハンドリング知識			6
	14	航空機情報画面(ITV) ②グランドハンドリング知識			2
	15	マーシャリング授業 ②グランドハンドリング知識			2
	16	エアポート実務まとめテスト(期末テスト)			4
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
	合計時間数				44
教科書	オリジナルプリント				
時間外 学習	航空用語、空港コード等の授業で学んだ知識の復習を各自で進める。				
成績評価 方法	【出席(5P)】【確認テスト(5P)】【授業態度(5P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(80P)】で評価 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	1. 実務家	2. 教員	備考		
実務経験紹介	https://www.irc.ac.jp/information/				

シラバス

令和5年度

学校名: 専修学校インターナショナルリゾートカレッジ

学科・学年	エアポートビジネス科エアカーゴコース1年次	授業方法	講義・演習	講義時期	前期
授業科目	実用英語 I (TOEIC)	担当者	新里玲子・川添樹子 上原美香	科目必修区分	必修
授業概要 (目的)	<ul style="list-style-type: none"> ・TOEICを初めて受験する、あるいはスコアアップを目指す学生を対象に、頻出語句、基礎文法、回答のテクニックを中心に学習する。 ・リスニング問題、リスニング問題を解くために必要な語句・文法確認を継続して行う。 				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・TOEICスコア300～400以上を取得する。 ・TOEICの学習、テスト形式になれ、今後継続的にハイスコアを目指して学習できる。 				
授業計画	総授業時間数 78時間 授業回数 78回 1回授業 45分				授業時間数
	1	オリエンテーション、問題形式・出題内容について			1
	2	実力診断テスト(模擬試験)			2
	3	リスニング Part 1、ボキャブラリー①			10
	4	リスニング Part 2、ボキャブラリー②			10
	5	リスニング Part 3、リーディング Part 5			10
	6	リスニング Part 4①、リーディング Part 6			14
	7	リスニング Part 4②、リーディング Part 7			14
	8	全パート入門編			10
	9	模擬試験、解答解説			7
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
	合計時間数				78
教科書	TOEIC L&Rテスト書き込みドリル(桐原書店)、公式TOEIC L&R問題集(ETS) 他				
時間外学習	単語テスト(Googleフォーム)他				
成績評価方法	【出席(5P)】【確認テスト(5P)】【授業態度(5P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(80P)】で評価 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	1. 実務家 (2. 教員)		備考		
実務経験紹介	—				

シラバス

令和5年度

学校名: 専修学校インターナショナルリゾートカレッジ

学科・学年	エアポートビジネス科 エアカーゴコース・1年次	授業方法	講義	講義時期	通年	
授業科目	国内地理	担当者	前津 盛明	科目必修区分	選択必修	
授業概要 (目的)	一般常識である国内の地理を観光業の目線から学びなおす。					
到達目標	日本全国の都道府県名、県庁所在地が全て答えられる。 都道府県の位置が地図上で答えられる。 各地方の観光地・名産品が具体的に述べられる。					
授業計画	総授業時間数	38時間	授業回数	38回	1回授業 45分	授業時間数
	1	関東の人口・面積・地名・観光地				4
	2	中部の人口・面積・地名・観光地				4
	3	関西の人口・面積・地名・観光地				4
	4	中国四国の人口・面積・地名・観光地				4
	5	九州の人口・面積・地名・観光地				4
	6	北海道の人口・面積・地名・観光地				4
	7	まとめテスト				2
	8	グループワーク①(都道府県探し)				4
	9	グループワーク②(世界遺産探し)				2
	10	国内地理調べワーク・発表				6
	11	※これまで学んだことから興味ある都道府県を一つ選び観光情報をまとめて発表する				
	12	※まとめる情報(観光地3つ、特徴、選んだ理由)				
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
	合計時間数				38	
教科書	オリジナルプリント					
時間外 学習	日本の都道府県、県庁所在地を覚える					
	日頃のニュースから情報を得る					
成績評価 方法	【出席(5P)】【確認テスト(5P)】【授業態度(5P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(80P)】で評価					
	学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	①. 実務家		2. 教員	備考		
	実務経験紹介		https://www.irc.ac.jp/information/			

シラバス

令和5年度

学校名: 専修学校インターナショナルリゾートカレッジ

学科・学年	エアポートビジネス科 エアカーゴコース・1年次	授業方法	講義・演習	講義時期	前期	
授業科目	通関・貿易実務(基礎)	担当者	宮城 良之・企業連携	科目必修区分	必修	
授業概要 (目的)	貿易について、流れやそのリスク回避、国際物流についての基礎を学ぶ。また、通関業務として「貨物の分類と関税計算」等の基礎を学ぶ。					
到達目標	①通関業務に関わる専門機関や専門用語について理解する。 ②関税やその他の附帯税の計算方法について理解する。 ③国際物流について、専門用語や流れを理解する。					
授業計画	総授業時間数	26 時間	授業回数	26 回	1回授業 45分	授業時間数
	1	「貿易」とは、貿易に伴うリスクについて				4
	2	世界の時差について				2
	3	貨物の分類について				2
	4	課税価格の計算と輸入申告について				2
	5	課税価格及び関税等の計算				4
	6	通関業務及び通関士の概要説明				2
	7	通関業務に付随する関連業務について(フォワーディング他)				2
	8	貨物の分類と輸入申告書作成①				2
	9	貨物の分類と輸入申告書作成②				2
	10	貨物の分類と輸入申告書作成③				2
	11	貨物の分類と輸入申告書作成④				2
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
	合計時間数				26	
教科書	オリジナルプリント(参考文献:通関士の基礎、貿易実務ハンドブック ベーシック)					
時間外 学習	ニュース番組視聴(特に国際関係)					
成績評価 方法	家庭学習課題提出、出席率、授業態度、確認テスト、期末テストの結果により 総合的に評価する。					
担当詳細	1. 実務家	2. 教員	備考			
実務経験紹介	https://www.irc.ac.jp/information/					

シラバス

令和5年度

学校名:専修学校インターナショナルリゾートカレッジ

学科・学年	エアポートビジネス科 エアカーゴコース・1年次	授業方法	講義・演習	講義時期	前期	
授業科目	IATAディプロマ基礎	担当者	市原 瑞貴	科目必修区分	必修	
授業概要 (目的)	国際航空貨物取扱業務における輸出入貨物の諸手続きに必要な事項を理解し、航空業界就職後の貨物部門において第一線として活躍できるよう国際航空貨物の知識の取得並びに国際ライセンスの取得を目的とする					
到達目標	1. IATA/ディプロマ基礎の国際ライセンス取得。(100点満点中60点以上合格) 2. OAG・TACTから必要な情報を探し、応用することができる。					
授業計画	総授業時間数	164時間	授業回数	164回	1回授業 45分	授業時間数
	1	ディプロマ単語練習				3
	2	ディプロマ基礎の説明 国際航空貨物の概要				2
	3	IATAの役割 AWBの説明				2
	4	空港コード(3レター、2レター)				2
	5	IATAエリア、IATAサブエリア				2
	6	ガイド(OAG&TACT)の使い方				2
	7	時刻表問題				2
	8	確認テスト①				2
	9	航空貨物運賃計算問題① 端数処理				2
	10	航空貨物運賃計算問題② 実重量と容積重量				2
	11	航空貨物運賃計算問題③ 適用重量				2
	12	航空貨物運賃計算問題④ 運賃レートの見方				2
	13	航空貨物運賃計算問題⑤ 運賃貨物計算(適用重量×適用レート) GCR				4
	14	航空貨物運賃計算問題⑥ SCR Class Rate GCR				3
	15	航空貨物運賃計算問題⑦ 特定品目賃率(SCR) アイテムNo.				3
	16	航空貨物運賃計算問題⑧ クラスレート				3
	17	確認テスト②				3
	18	航空貨物運賃計算問題⑨ 従価料金(VALUATION CHARGES)				4
	19	航空貨物運賃計算問題⑩ 立替金手数料(DISBURSEMENTS FEE)				3
	20	航空貨物運賃計算問題⑪ 着払い手数料(CHARGE COLLECT)				2
	21	航空機に関する知識				3
	22	各国のレギュレーション				2
	23	航空貨物ルール 航空危険物				2
	24	クラスレート品目				2
	25	エアウェイビル(AWB)に関する問題 保税区域 システムの電子化				4
	26	航空貨物計算に関する問題				2
	27	期末試験③				3
	28	模擬試験				36
	29	解答解説(後藤レポート作成含む)				20
	30	ディプロマ英会話				40
	合計時間数				164	
教科書	OAG・TACT ディプロマText Book					
時間外学習	ディプロマ単語ノート、モジュールまとめを各自で進める					
成績評価方法	【出席(5P)】【確認テスト(5P)】【授業態度(5P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(80P)】で評価 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	1. 実務家	2. 教員	備考			
実務経験紹介	https://www.irc.ac.jp/information/					

シラバス

令和5年度

学校名: 専修学校インターナショナルリゾートカレッジ

学科・学年	エアポートビジネス科 エアカーゴコース・1年次	授業方法	講義・演習	講義時期	通年		
授業科目	一般学力(国語・数学・時事)	担当者	上原 美香	科目必修区分	必修		
授業概要 (目的)	(国語): 「敬語」「文法」「語彙」「言葉の意味」「表記」「漢字」の6領域の内容を中心に理解を深め、日本語に対する関心を持ち、日本語を適切に使う力を養う。 (数学) 中学3年レベルを中心に、基礎的問題を確実に身につける。 (時事) 新聞やニュースを通して、社会人として最低限必要な教養を身につけることも目的とする。						
到達目標	1. 「書く」「話す」について、学んだ敬語を実践できる。 2. 一般社会で触れる文章・新聞などの漢字の読み・書きができ内容を理解することができる。 3. 四則の計算、簡単な方程式・文章問題を解くことができる。 4. 各単元に沿った問題を理解し、適した計算方法を使い問題を解くことができる。 5. 時事に関する最新の話題について、知識を習得している。						
授業計画	総授業時間数	50時間	授業回数	50回	1回授業	45分	授業時間数
	1	(国語) 漢字の読み・書き①					2
	2	(数学) 四則計算①					2
	3	(国語) 漢字の読み・書き②					2
	4	(数学) 四則計算②					2
	5	(国語) 漢字の読み・書き③					2
	6	(数学) 四則計算③					2
	7	確認テスト1					2
	8	(国語) 熟語・慣用句①					2
	9	(数学) 角度の計算					2
	10	(国語) 熟語・慣用句②					2
	11	(数学) 割合・面積・体積					2
	12	(国語) 熟語・慣用句③					2
	13	(数学) 分数のかけ算・わり算					2
	14	確認テスト2					2
	15	時事問題①					2
	16	(数学) 速さ・道のり・時間の関係					2
	17	時事問題②					2
	18	(数学) 反比例・文字式 連立方程式					2
	19	時事問題③					2
	20	(数学) 方程式・不等式					2
	21	(国語) 敬語の言い表し方(尊敬語、謙譲語、丁寧語)					2
	22	(数学) 数列					2
	23	(国語) 敬語の言い表し方(尊敬語、謙譲語、丁寧語)					2
	24	(数学) 文章問題					2
	25	確認テスト3					2
	26						
	27						
	28						
	29						
	30						
	31						
	32						
	26						
	27						
	28						
	29						
	30						
	合計時間数						50
教科書	最新最強の適性検査クリア問題集 '24年度						
時間外学習	テキストの復習、ニュースを見る 日常生活で意識して敬語を使う						
成績評価方法	家庭学習課題提出、出席率、授業態度、確認テスト、期末テストの結果により 総合的に評価する。						
担当詳細	1. 実務家	2. 教員	備考				
実務経験紹介	—						

シラバス

令和5年度

学校名:専修学校インターナショナルリゾートカレッジ

学科・学年	エアポートビジネス科 エアカーゴコース・1年次	授業方法	講義・演習・実習	講義時期	通年
授業科目	通関・貿易実務	担当者	宮城 良之・連携企業等	科目必修区分	必修
授業概要 (目的)	前期で学んだ基礎を元に、貿易実務検定C級レベルの知識習得を目指す。また、通関業者への委託により、通関業の実務を学ぶ。学内で学んだ基礎をもとに、現場実習を通して、通関手続きについての知識を高める。さらに県外空港及び港湾施設の見学研修により、国際空港と港湾施設の役割を深く理解する。				
到達目標	1. 貿易実務検定C級について、合格レベルに達している。 2. 通関手続き(輸出、輸入)の流れが理解できる。 3. 羽田及び成田空港の役割について理解している。また海上輸送の流れも理解している。 4. 社会人としての基本的なマナー(挨拶や立ち振る舞い等)を習得している。				
授業計画	総授業時間数 164時間 授業回数 164回 1回授業 45分				授業時間数
	1	(貿易実務検定対策)・インコタームズの基礎知識			12
	2	()・マーケティングと取引交渉			6
	3	()・貿易運送			6
	4	()・確認テスト①			4
	5	()・海上貨物保険 ・貿易保険 ・PL保険			8
	6	()・確認テスト②			4
	7	()・代金決済 ・信用状 ・船積手続			10
	8	()・確認テスト③			4
	9	()・輸出代金回収 ・輸入代金決済			16
	10	()・確認テスト④			4
	11	()・貨物引取りと関税納付 ・外国為替相場			14
	12	()・確認テスト⑤			4
	13	()・校内模試			20
	14	(企業インターンシップ)・税関検査立ち合い ・輸入通関手続き等			10
	15	(企業インターンシップ)・輸入通関手続き ・書類作成等			10
	16	(県外空港研修)・羽田空港、成田空港、横浜港湾施設			32
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
	合計時間数				164
教科書	貿易実務ハンドブック ベーシック版				
時間外 学習	インターンシップ先企業のHP等を参照し、企業研究を行う。 新聞やニュースを通し、世界の貿易の現状を知る。				
成績評価 方法	・模試及び検定試験結果、出席状況・授業態度。 ・研修期間におけるレポート作成により評価する。				
担当詳細	①. 実務家 ②. 教員		備考		
実務経験紹介	https://www.irc.ac.jp/information/				

シラバス

令和5年度

学校名: 専修学校インターナショナルリゾートカレッジ

学科・学年	エアポートビジネス科 エアカーゴコース・1年次	授業方法	講義・演習	講義時期	通年			
授業科目	実用英語 I (TOEIC)	担当者	新里玲子・川添樹子 上原美香	科目必修区分	必修			
授業概要 (目的)	<ul style="list-style-type: none"> ・TOEICのスコアアップを目指す学生を対象に、頻出語句、基礎文法、回答のテクニックを中心に学習する。 ・リスニング問題、リスニング問題を解くために必要な語句・文法確認を継続して行う。 							
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・TOEICスコア400～600以上を取得する。 ・ハイスコアを目指して学習できる。 							
授業計画	総授業時間数		60時間	授業回数	60回	1回授業	45分	授業時間数
	1	リスニング、品詞問題						8
	2	リスニング、動詞問題						8
	3	リスニング、前置詞or接続詞問題						8
	4	リスニング、代名詞問題						8
	5	リスニング、前置詞問題						8
	6	リスニング、関係詞問題						8
	7	リスニング、ペア表現・語法・数・比較問題						8
	8	模擬試験⑦、解答解説						4
	9							
	10							
	11							
	12							
	13							
	14							
	15							
	16							
	17							
	18							
	19							
	20							
	21							
	22							
	23							
	24							
	25							
	26							
	27							
	28							
	29							
	30							
	合計時間数						60	
教科書	TOEIC L&Rテスト書き込みドリル(桐原書店)、公式TOEIC L&R問題集(ETS)他							
時間外 学習	単語テスト(Googleフォーム)他							
成績評価 方法	【出席(5P)】【確認テスト(5P)】【授業態度(5P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(80P)】で評価 学校基準により4段階評価とする							
担当詳細	1. 実務家		2. 教員		備考			
実務経験紹介	—							

シラバス

令和5年度

学校名: 専修学校インターナショナルリゾートカレッジ

学科・学年	エアポートビジネス科 エアカーゴコース・1年次	授業方法	講義・演習	講義時期	後期
授業科目	貿易英語	担当者	川添 樹子	科目必修区分	必修
授業概要 (目的)	貿易実務検定に向け、必要とされる「語彙・文法力」を身に付ける。				
到達目標	①合格ラインである、60点満点の約7割の40点が取れる。 ②貿易関係の英文章を読み、理解することが出来る。				
授業計画	総授業時間数 34時間 授業回数 34回 1回授業 45分				授業時間数
	1	オリエンテーション(対策の流れ説明・問題説明)			2
	2	英文和訳、ビジネス英文書読解			6
	3	過去問(英文読解、単語)			26
	4				
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
		合計時間数			
教科書	過去問10回分				
時間外 学習					
成績評価 方法	【出席(5P)】【確認テスト(5P)】【授業態度(5P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(80P)】で評価 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	務家 (2. 教員)	備考			
履務経験紹介	—				

シラバス

令和5年度

学校名: 専修学校インターナショナルリゾートカレッジ

学科・学年	エアポートビジネス科 エアカーゴコース・1年次	授業方法	Interactive English	講義時期	後期
授業科目	English Conversation1	担当者	Paul Ody	科目必修区分	必修
授業概要 (目的)	Daily Conversation for everyone! Improve English conversation through easy to intermediate level topics based on pair discussion and class presentations				
到達目標	Using basic English conversation through beginners level English. Showing capability to use English to introduce one's self competently				
授業計画	総授業時間数 18時間 授業回数 18回 1回授業 45分				授業時間数
	1	Simple Self Introductions! Introducing Your Friend!			1
	2	What did you do this week? Why do you plan to do this weekend?			1
	3	Tell me about your family Describe your job			1
	4	Tell us about your hobbies . Tell us about your pets			1
	5	What kind of music do you like? What kind of movies do you like?			1
	6	What did you eat for lunch? What kind of food do you like to eat?			1
	7	What was your childhood like? Tell us about your best friend?			2
	8	What is your favorite holiday? What is your favorite season?			2
	9	What is your favorite country to live? Where do you like to travel?			2
	10	What is the craziest thing you have done and the strangest thing you have done?			2
	11	What is your dream? Who is your "idol"?			2
	12	What are your main goals for this year? What are your plans for your next year?			2
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
	合計時間数				18
教科書	オリジナルプリント対応				
時間外学習	単語帳等を活用した自主学習				
成績評価方法	出席率、授業態度、模擬テスト、本試験の結果により総合的に評価する。				
担当詳細	1. 実務家 (2. 教員)		備考		
実務経験紹介	—				

シラバス

令和5年度

学校名:専修学校インターナショナルリゾートカレッジ

学科・学年	エアポートビジネス科 エアカーゴコース 2年生	授業方法	講義・実習	講義時期	前期
授業科目	総合学習Ⅱ	担当者	川添 樹子他	科目必修区分	必修
授業概要 (目的)	1年次で学んだことを踏まえて、「自立」、「自律」を主とし、自ら考え行動できる力を養うことを目的とする。その手段として各種行事の運営を学生主体となって実践する。				
到達目標	1. 各種行事において、振り返りができ、次につながる改善策を提案できる。 2. 積極的な就職活動により、希望する企業・業界の研究がしっかりできる。				
授業計画	総授業時間数 68時間 授業回数 68回 1回授業 45分				授業時間数
	1	LHR ロングホームルーム(クラス行事、学生個別ガイダンス等を含む)			20
	2	就職実務Ⅱ			14
	3	チャレンジ検定対策			34
	4				
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
	合計時間数				68
教科書	オリジナルプリント他				
時間外 学習	1. 学生クレドの項目を普段の学校生活にて各自で実践する(立ち止まって挨拶、身だしなみ等) 2. 学校行事(ビーチパーティその他行事等)に関しては時間外で準備対応等がある。				
成績評価 方法	出席率、授業態度、課外活動総合的に評価する。				
担当詳細	1. 実務家	②. 教員	備考		
実務経験紹介	—				

シラバス

令和4年度

学校名:専修学校インターナショナルリゾートカレッジ

学科・学年	エアポートビジネス科 エアカーゴコース 2年生	授業方法	講義	講義時期	前期	
授業科目	志学Ⅱ	担当者	大冢見 汐織	科目必修区分	必修	
授業概要 (目的)	「働く」意味についてしっかりと考え、社会生活を通して、「夢」、「志」について深く学び、将来のやりがいにつながる「立志」を確立させる。					
到達目標	1. ロールモデルとなる人物を挙げ、その人物の生き方を知ることができる。 2. 「働く」ことの意味をしっかりと理解し、自分自身の「志」を定めることができる。					
授業計画	総授業時間数	26時間	授業回数	26回	1回授業 50分	授業時間数
	1	序章 志学Ⅰ 振り返り				2
	2	第1章 「志とは」				4
	3	第2章 感化力「志」高く生きた人に学ぶ ※家庭学習課題対応				4
	4	第3章 伝える力(思いを言葉に変える力)を磨く				4
	5	第4章 考える力(思考力)を磨く				4
	6	第5章 私の「志」				8
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
	合計時間数					26
教科書	KBC学園オリジナルテキスト「志学Ⅰ・Ⅱ」					
時間外 学習						
成績評価 方法	家庭学習課題の提出、出席率、授業態度、レポート提出等総合的に評価する。					
担当詳細	1. 実務家	2. 教員	備考			
実務経験紹介	—					

シラバス

令和5年度

学校名:専修学校インターナショナルリゾートカレッジ

学科・学年	エアポートビジネス科 グランドハンドリングコース 2年生	授業方法	演習・講義	講義時期	通年	
授業科目	パソコン演習Ⅱ	担当者	喜名 和歌子	科目必修区分	必修	
授業概要 (目的)	パソコン演習Ⅰで習得した技能を土台として、上級取得を目指す。準2・2級の出題範囲である関数の理解を深め、応用力を身につける。					
到達目標	日本情報処理検定協会の主催する検定試験(準2級以上)の知識及び技能が身につけていること。					
授業計画	総授業時間数	72時間	授業回数	72回	1回授業 45分	授業時間数
	1	3級問題の復習(各関数の復習「IF」、「SUM」、「AVERAGE」他)				4
	2	模擬試験問題(2級)演習①(特にVLOOKUPを重点的に理解する)				4
	3	模擬試験問題(2級)演習②(セル証明、IFの応用を理解する)				6
	4	模擬試験問題(2級)演習③(グラフ作成について理解する)				6
	5	模擬試験問題(2級)演習④(随時、解説を行う)				4
	6	模擬試験問題(2級)演習⑤				4
	7	模擬試験問題(2級)演習⑥				4
	8	模擬試験問題(2級)演習⑦				4
	9	模擬試験問題(2級)演習⑧				4
	10	模擬試験問題(2級)演習⑨				4
	11	模擬試験問題(2級)演習⑩				4
	12	模擬試験問題(2級)演習⑪				4
	13	模擬試験問題(2級)演習⑫				4
	14	模擬試験問題(2級)演習⑬				4
	15	模擬試験問題(2級)演習⑭				4
	16	模擬試験問題(2級)演習⑮				4
	17	模擬試験問題(2級)演習⑯				4
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
	合計時間数				72	
教科書	情報処理検定試験 表計算 模擬問題集(準2級・2級)					
時間外 学習	パソコン室にて過去問題について、自主学習を行う。					
成績評価 方法	出席率、授業態度、模擬試験及び本試験の結果により総合的に評価する。					
担当詳細	1. 実務家	2. 教員	備考			
実務経験紹介	—					

シラバス

令和5年度

学校名: 専修学校インターナショナルリゾートカレッジ

学科・学年	エアポートビジネス科 エアカーゴコース 2年生	授業方法	講義・演習	講義時期	前期		
授業科目	通関業法	担当者	川添樹子	科目必修区分	必修		
授業概要 (目的)	・通関業法の目的を通してどのような規制等を行っているのか理解する。 ・通関業の許可、通関士の確認等の制度を理解する。						
到達目標	・通関士試験の一科目「通関業法」合格基準の達成(正答率60%以上)。						
授業計画	総授業時間数	46時間	授業回数	46回	1回授業	45分	授業時間数
	1	オリエンテーション(通関士を学ぶ前に、学習の進め方)				1	
	2	第1章 総則(目的と定義)				2	
	3	第2章 通関業の許可				6	
	4	第3章 通関業者の義務・通関業者の権利				6	
	5	第4章 通関士				6	
	6	第5章 監督処分と懲戒処分				6	
	7	総復習				4	
	8	模試				14	
	9	修了試験				1	
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
	16						
	17						
	18						
	19						
	20						
	21						
	22						
	23						
	24						
	25						
	26						
	27						
	28						
	29						
	30						
		合計時間数				46	
教科書	2023年度通関士完全攻略ガイド(翔泳社)、2023通関士選択式徹底対策(JMAM)						
時間外 学習							
成績評価 方法	【修了試験50P】【出席・授業態度(25P)】【課題(25P)】で評価 学校基準により4段階評価とする						
担当詳細	1. 実務家	2. 教員	備考				
実務経験紹介	—						

シラバス

令和5年度

学校名:専修学校インターナショナルリゾートカレッジ

学科・学年	エアポートビジネス科 エアカーゴコース・2年生	授業方法	講義・演習	講義時期	前期
授業科目	通関法令(関税法・他法令)	担当者	大城 利気	科目必修区分	必修
授業概要 (目的)	通関士資格取得に向けた「通関法令分野」のための対策授業である。関税法について基礎から学び、各項目のポイントと出題問題の傾向を理解する。過去問題を元にしたテキスト問題の演習で問題解答の経験値をあげていき、校内模擬試験で合格得点を取れるようになり、通関士資格取得を目指す				
到達目標	1. 試験科目「関税法」の概要を理解し、説明ができるようになる。 2. 関税法の演習問題を解き、正答の論拠となる法律を理解している 3. 校内模擬試験で合格正答率以上の得点に達している				
授業計画	総授業時間数 72時間 授業回数 72回 1回授業 50分				授業時間数
	1	始めに:シラバス配布・授業の進め方と評価方法・通関士取得に向けて			2
	2	【関税法の定義】輸入と輸出・その他の定義 問題演習 ※家庭学習課題対応			4
	3	【通関と保税のしくみ①】輸入通関・輸出通関・特定輸出者 問題演習 ※家庭学習課題対応			6
	4	【通関と保税のしくみ②】保税地域・保税運送・収容 問題演習			6
	5	【通関と保税のしくみ③】輸出入してはならない貨物 問題演習			6
	6	【租税法としての関税法のしくみ①】課税物件確定の時期 問題演習			6
	7	【租税法としての関税法のしくみ②】適用法令 納税義務者 問題演習			6
	8	【租税法としての関税法のしくみ③】特例輸入申告 認定通関業者			6
	9	【租税法としての関税法のしくみ④】関税額の確定 問題演習			6
	10	【租税法としての関税法のしくみ⑤】納期限 法定納期限 問題演習			6
	11	【租税法としての関税法のしくみ⑥】付帯税 関税の徴収権 問題演習			6
	12	外為法その他			4
	13	関税法まとめ・確認テスト 解答と解説			8
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
	合計時間数				72
教科書	2023年度通関士完全攻略ガイド(翔泳社)、2023通関士選択式徹底対策(JMAM)				
時間外 学習	授業プリントの復習				
	演習問題の復習				
成績評価 方法	家庭学習課題の提出、出席率、授業態度、確認テスト、模擬試験、及び本試験の結果により総合的に評価する。				
担当詳細	1. 実務家	2. 教員	備考		
実務経験紹介	—				

シラバス

令和4年度

学校名:専修学校インターナショナルリゾートカレッジ

学科・学年	エアポートビジネス科 エアカーゴコース・2年生	授業方法	講義・演習	講義時期	前期
授業科目	通関法令(関税定率法)	担当者	宮城 良之	科目必修区分	必修
授業概要 (目的)	通関士資格取得に向けた「通関法令分野」のための対策授業である。関税定率法について基礎から学び、各項目のポイントと出題問題の傾向を理解する。特に「課税価格の計算」については、申告書作成のカギとなるため、十分な演習時間を確保する。				
到達目標	1. 試験科目「関税定率法」の概要を理解し、説明ができるようになる。 2. 関税法の演習問題を解き、正答の論拠となる法律を理解している 3. 校内模擬試験で合格正答率以上の得点に達している				
授業計画	総授業時間数 46時間 授業回数 46回 1回授業 50分				授業時間数
	1	【関税定率法①】関税の種類(一般税率・少額貨物・携帯品) 問題演習及び「語群選択問題」対策			12
	2	【関税定率法②】課税価格の決定(原則・特別な事情) 問題演習 及び「語群選択問題」対策			20
	3	【関税定率法③】特殊関税制度と関税割当制度 問題演習 及び「語群選択問題」対策			6
	4	【関税定率法④】関税割当制度 問題演習 及び「語群選択問題」対策			4
	5	まとめ・確認テスト 解答と解説			4
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
	合計時間数				46
教科書	2023年度通関士完全攻略ガイド(翔泳社)、2023通関士選択式徹底対策(JMAM)				
時間外 学習	授業プリントの復習				
	演習問題の復習				
成績評価 方法	家庭学習課題の提出、出席率、授業態度、確認テスト、模擬試験、及び本試験の結果により総合的に評価する。				
担当詳細	1. 実務家	2. 教員	備考		
実務経験紹介	—				

シラバス

令和4年度

学校名: 専修学校インターナショナルリゾートカレッジ

学科・学年	エアポートビジネス科 エアカーゴコース・2年生	授業方法	講義・演習	講義時期	前期
授業科目	通関実務	担当者	宮城 良之	科目必修区分	必修
授業概要 (目的)	輸出入通関時に必要となる申告書の作成ができるよう、実行関税率票の使い方、関税額の計算方法など、実務に関することを実践的に学ぶ。				
到達目標	①通関士試験科目「通関実務」の合格基準(60%以上の正解)を達成していること。 ②通関士の主な仕事である、「課税価格」及び関税額の計算に関する知識を習得していること。				
授業計画	総授業時間数 230時間 授業回数 230回 1回授業 50分				授業時間数
	1	通関実務の科目概要説明 計算問題(関税算出) 確認テスト ※家庭学習課題対応			10
	2	関税及び附帯税の計算 確認テスト			16
	3	課税価格の計算(基本、加算、減算) 確認テスト			30
	4	輸出申告書の作成			34
	5	輸入申告書の作成 ※家庭学習課題対応			50
	6	関税率表の解釈及び貨物の区分 確認テスト			24
	7	模擬試験(解答・解説含む)			66
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
	合計時間数				230
教科書	2023年度通関士完全攻略ガイド(翔泳社)、2023通関士選択式徹底対策(JMAM)				
時間外 学習	通関用語等の単語帳作成とその学習				
	テーマ別問題集の自宅学習				
成績評価 方法	家庭学習課題の提出、出席率、授業態度、確認テスト、模擬試験、 及び本試験の結果により総合的に評価する。				
担当詳細	1. 実務家	2. 教員	備考		
実務経験紹介	—				

シラバス

令和5年度

学校名:専修学校インターナショナルリゾートカレッジ

学科・学年	エアポートビジネス科 グランドハンドリングコース 2年生	授業方法	講義・実習	講義時期	後期	
授業科目	総合学習Ⅱ	担当者	川添 樹子他	科目必修区分	選択必修	
授業概要 (目的)	1年次で学んだことを踏まえて、「自立」、「自律」を主とし、自己の向上を図るため、上位級の検定にチャレンジする。また、福祉に関する知識習得と簿記の知識も習得し、社内業務に活かす。さらにフィジカルトレーニングを通して、健全な心身を保つ。					
到達目標	1. 一つでも多くの検定を取得する。 2. 日商簿記3級程度の知識を習得する。 3. 沖縄の文化に触れることで、伝統芸能を習得する。他					
授業計画	総授業時間数	324時間	授業回数	324回	1回授業 45分	授業時間数
	1	チャレンジ検定対策				30
	2	英会話Ⅱ				30
	3	海外実務				28
	4	福祉交流(手話・三線)				76
	5	会社実務(簿記基礎)				76
	6	フィジカルトレーニング				56
	7	ビジネススキル				28
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
	合計時間数					324
教科書	オリジナルプリント他					
時間外 学習	1. ニュース(海外)に関心を持ち、視聴する。 2. ドラマや手話ニュースなどから、基本的な手話を学習する。					
成績評価 方法	出席率、授業態度、課外活動総合的に評価する。					
担当詳細	1. 実務家	2. 教員	備考			
実務経験紹介	—					

シラバス

令和5年度

学校名:専修学校インターナショナルリゾートカレッジ

学科・学年	エアポートビジネス科 エアカーゴコース2年次	授業方法	実習	講義時期	後期
授業科目	入社前実習	担当者	川添 樹子	科目必修区分	選択必修
授業概要 (目的)	①講義等で得た知識を実践の場で体験を行う ②就職を意識した企業観察を同時に行い、就職後をイメージした研修の実施				
到達目標	①各内定を頂いた企業からの事前課題資料の学習及び業務についての基礎的な学習の実施。 ②社会人また職業人としての基礎的な知識また実技を習得する。				
授業計画	総授業時間数	324時間	授業回数	324回	1回授業 45分
	1	入社前実習			324
	2				
	3				
	4				
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
	合計時間数				324
教科書	企業オリジナル教材				
時間外 学習	学内で学んだ専門用語等の資料を復習する。				
成績評価 方法	勤怠状況等により、総合的に評価する。 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	1. 実務家	2. 教員	備考		
実務経験紹介	—				